

## 消費者志向経営推進シンポジウムを開催しました

消費者庁では、平成30年11月26日(月)、JA共済ビルカンファレンスホールにて、「消費者志向経営推進シンポジウム」を開催しました。シンポジウムには、消費者志向自主宣言事業者を含む企業や事業者団体の関係者を中心に、200名近くの方に御参加いただき、盛況のうちに終了しました。

### 当日のプログラム(シンポジウムの案内チラシへリンク)

#### ◆主催者挨拶

冒頭に、宮腰内閣府特命担当大臣が、主催者を代表して開会の挨拶をしました。

宮腰大臣は、挨拶の中で、「消費者志向経営」の取組の深化と普及を図るべく、今後、分かりやすいネーミングやキャッチフレーズを検討していきたい旨を述べました。



開会挨拶を行う宮腰大臣

#### ◆消費者志向経営優良事例表彰 表彰式

今年度から新たに創設された「消費者志向経営優良事例表彰」の第1回表彰式を行いました。宮腰大臣から内閣府特命担当大臣表彰1件(花王株式会社)、岡村消費者庁長官から消費者庁長官表彰3件(損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社ニチレイフーズ、明治安田生命保険相互会社)の表彰状を授与しました。

### 平成30年度 消費者志向経営優良事例表彰 表彰結果(表彰結果プレスリリースへリンク)



内閣府特命担当大臣表彰の様子  
(花王株式会社)



消費者庁長官表彰の様子  
(損害保険ジャパン日本興亜株式会社)



消費者庁長官表彰の様子  
(株式会社ニチレイフーズ)



消費者庁長官表彰の様子  
(明治安田生命保険相互会社)



表彰の講評を行う野村選考委員長



消費者志向経営優良事例表彰 記念撮影

#### ◆基調講演 ～消費者志向経営を組織の競争力に～

消費者志向経営の更なる推進に向けた機運の醸成を目的とし、麗澤大学大学院経済研究科教授 高 巖氏から、「消費者志向経営を組織の競争力に」というテーマでお話がありました。講演では、消費者志向経営の必要性と信頼による競争力の強化など消費者志向経営の効果、トップのコミットメントの重要性についてお話があり、消費者志向経営はそこで働く一人一人にとっても非常に重要な取組であると強調されました。



講演を行う高 巖 麗澤大学教授

## ◆パネルディスカッション ～これからの消費者志向経営の取組について—明治期の取組に学ぶ—

「明治150周年」の関連施策の一環として、明治期の消費者志向の取組に学び、これからの消費者志向経営にいかしていくことをテーマとしたパネルディスカッションを実施しました。前半は、花王株式会社の青木秀子氏と第一生命保険株式会社の渡邊光一郎氏より各社における明治期の取組及びその取組が現代にどうつながっているか紹介いただき、意見交換を行いました。後半には、企業経営の観点から持続可能な消費者志向経営について活発な議論が行われました。



パネルディスカッションの様子



コーディネータ 川口政策参与



パネリスト 青木 秀子 氏  
(花王株式会社 常務執行役員)



パネリスト 渡邊 光一郎 氏  
(第一生命保険株式会社 代表取締役会長)



パネリスト 辻本 浩子 氏  
(株式会社日本経済新聞社 論説委員)



パネリスト 島谷 克史 氏  
(公益社団法人消費者関連専門家会議 理事長)

## ◆明治期の消費者志向の取組のパネル展示等

会場横に「明治150年」関連施策として、明治期の消費者志向の取組発掘プロジェクトに応募いただいた15事業者の明治期の消費者志向の取組のパネル展示を行いました。

(御応募いただいた事業者)

- 味の素株式会社
- 花王株式会社
- サントリーホールディングス株式会社
- JXTGホールディングス株式会社
- 株式会社資生堂
- 清水建設株式会社
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
- 第一生命保険株式会社
- 株式会社高島屋
- チチヤス株式会社
- 東京海上日動火災保険株式会社
- 日本生命保険相互会社
- 明治安田生命保険相互会社
- 森永製菓株式会社
- ライオン株式会社

## 明治期の消費者志向の取組発掘プロジェクト(プロジェクトページヘルリンク)



「明治150年」関連施策のパネル展示の  
視察を行う宮腰大臣



会場の様子